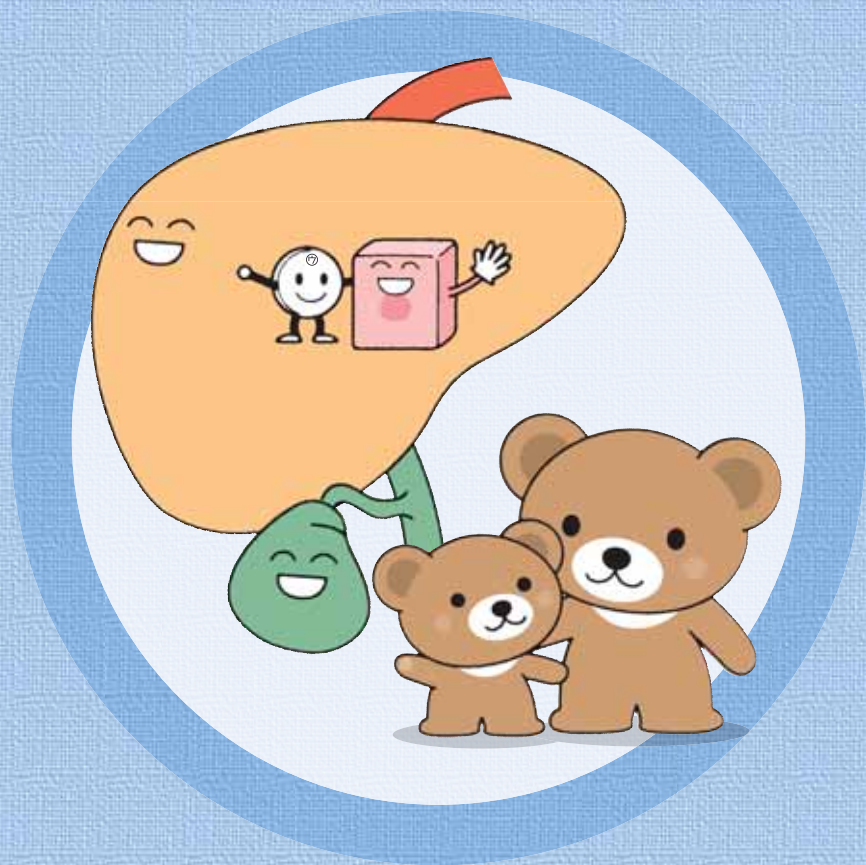


ウルイ/を服用される 患者さんへ



【監修】帝京大学医学部 内科 教授 滝川 一 先生

田辺三菱製薬株式会社

はじめに

ウルソの効果を最大限に生かすためには、治療期間中しっかり服用して頂くことがとても大切です。

しかし、症状がないのにどうして服用しなければならないのでしょうか？

そもそも、どうして治療が必要なのでしょうか？

この冊子ではこのような疑問について、わかりやすく説明しています。

CONTENTS

ウルソとは…	2
慢性肝疾患と診断されて服用する患者さんへ…	3
C型慢性肝炎と診断されて服用する患者さんへ…	5
胆汁うっ滞がある肝疾患 胆道(胆管・胆のう)系の病気 原発性胆汁性肝硬変	と診断されて服用する患者さんへ… 7
胆石症と診断されて服用する患者さんへ…	9
副作用	裏表紙

ウルソとは…

日本で生まれ、半世紀以上服用されています。

ウルソは、もともと奈良・平安時代から貴族が服用し、江戸時代に広く効用が普及した貴重な漢方薬、「熊胆(くまのい、ゆうたん)」をヒントにして生まれたお薬です。



1957年に工業的に合成された医療用医薬品「ウルソ」が発売され、これまで世界各国でその有効性と安全性が認められてきました。



ウルソは日本で発売されてから50年以上経過し、年間100万人以上の方が服用されているお薬です。



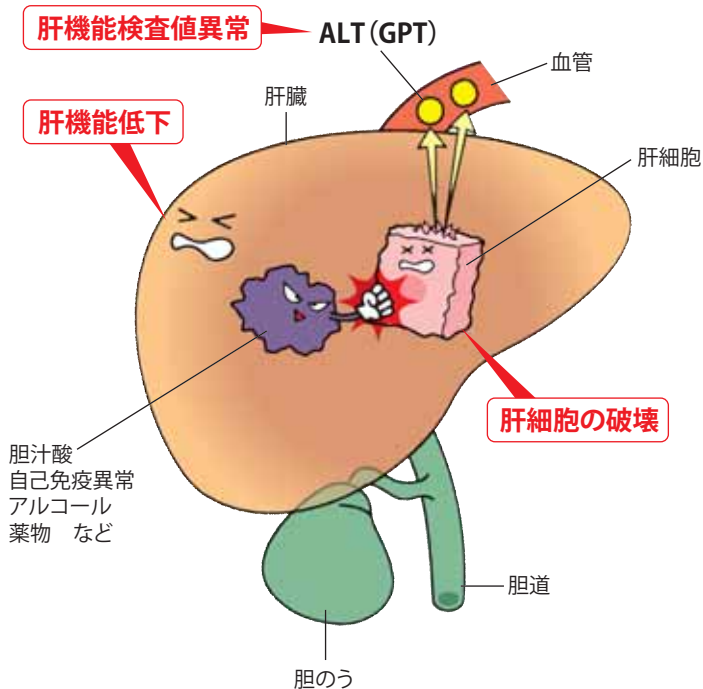
慢性肝疾患 と診断され

なぜ治療するの？

肝臓の病気は、自覚症状がほとんどありません。しかし、肝臓の中では異常や障害により細胞が壊され、働きが悪くなっています。さらに、慢性的な異常や障害は、肝硬変や肝がんの原因の一つですので、治療が必要になります。

肝臓の異常や障害は、主に血液検査の項目、ALT (GPT) の数値が上がっているかどうかで確認できます。

ALT (GPT) は、通常、肝臓 (肝細胞) の中に存在する物質です。これが血液中に増え検査で高い値を示すということは、何らかの異常や障害により肝臓が壊されていることを意味しています。



て服用する患者さんへ…

なぜウルソを服用するの？

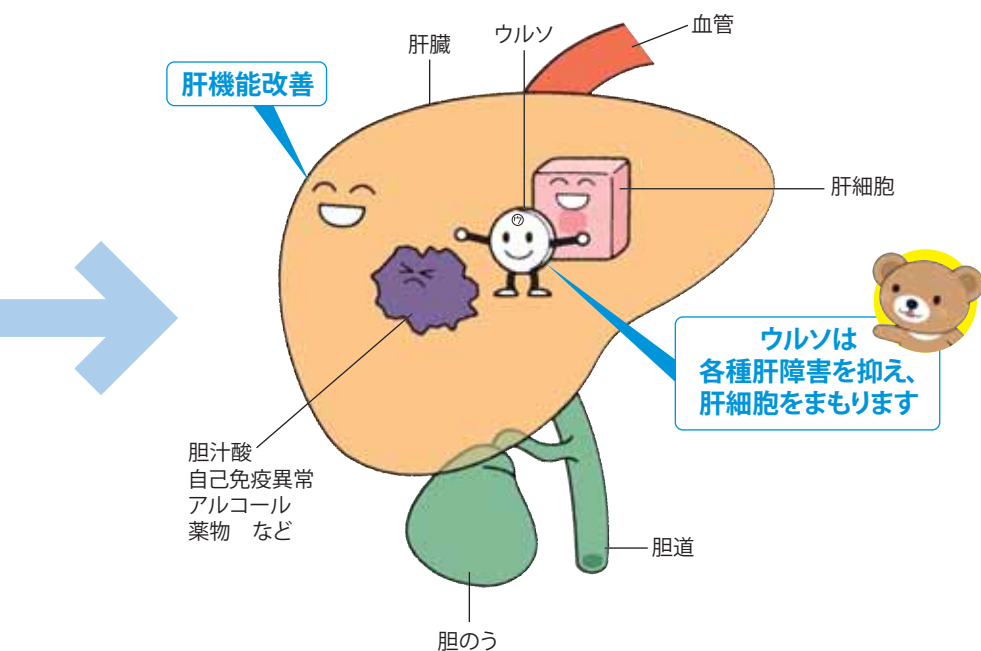
肝臓の機能を改善するために服用します。

さらに、肝硬変や肝がんへの進行を抑える可能性もあります。

なぜ効くの？

ウルソは、様々な原因によって生じる肝臓の異常や障害を抑え、肝臓をまもり、その機能を改善します。

この効果は、血液検査でALT (GPT) などの数値が下がることで確認できます。



より詳しい情報は、医師・薬剤師にお尋ねください。



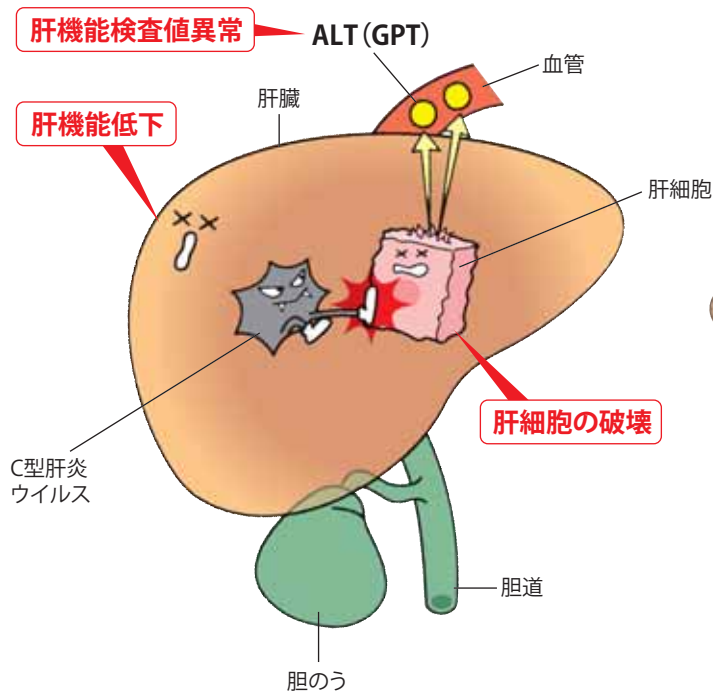
C型慢性肝炎 と診断され

なぜ治療するの？

C型慢性肝炎による肝臓の異常や障害を放っておくと、それが原因で重い病気（肝硬変・肝不全・肝がん）に悪化してしまう危険性がありますので、治療が必要になります。

なぜウルソを服用するの？

肝臓の機能を改善するために服用します。
さらに、肝硬変や肝がんへの進行を抑える可能性もあります。



て服用する患者さんへ…

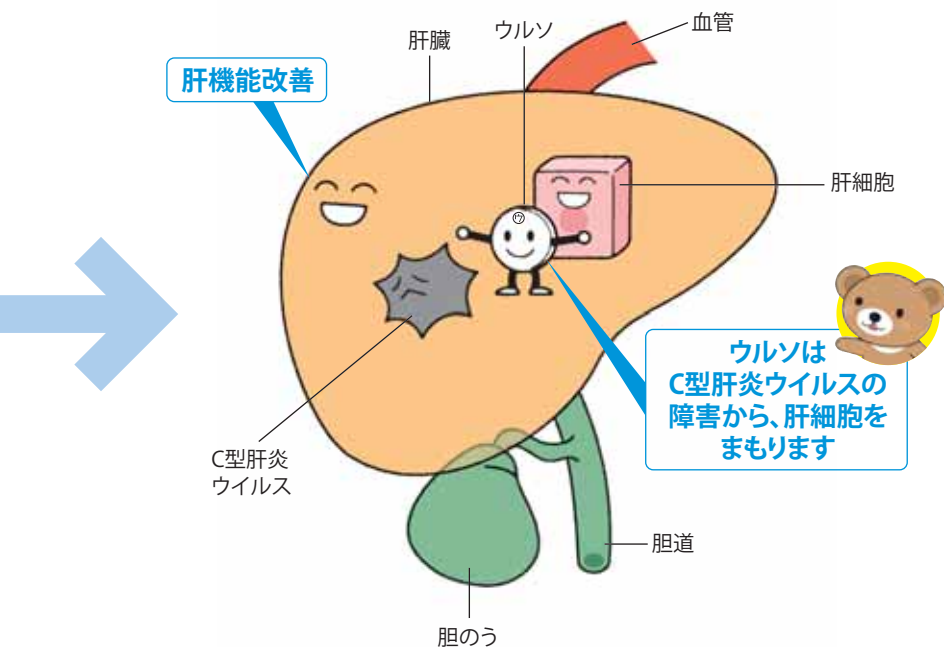
なぜ効くの？

ウルソにはC型肝炎の原因である「肝炎ウイルス」を退治する効果はありません。しかし、ウイルスによって生じる肝臓の炎症や障害を抑える効果があります。

この効果により肝臓が壊れるのを防ぎ、肝臓の機能を改善します。
この効果は、血液検査でALT (GPT) などの数値の低下で確認できます。

2007年からウルソを1日600mg、最大で900mg（「ウルソ錠100mg」を1日6錠、最大9錠）服用する治療が保険で認められています。

これは、1日600mg（最大900mg）治療が、より肝機能の改善に有効で安全性にも問題のないことが研究によって確認されたためです。



より詳しい情報は、医師・薬剤師にお尋ねください。



- ^{たん} ^{じゅう} ^{たい}胆汁うっ滞がある肝疾患
- 胆道 (胆管・胆のう) 系の病気
- ^{げん} ^{ばつ} ^{せい} ^{たん} ^{じゅう} ^{せい} ^{かん} ^{こう} ^{へん}原発性胆汁性肝硬変

なぜ治療するの？

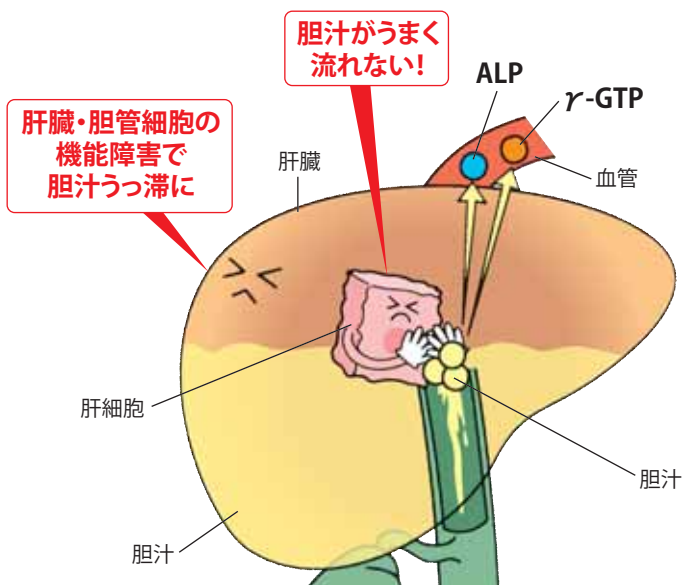
肝臓は、「胆汁」という液体を作って、体にとって不要な老廃物や毒性の強い物質を肝臓から排泄する働きがあります。

胆汁を作る働きが弱くなったり、胆汁の流れ道である胆管が壊されると、老廃物が排泄できず肝臓にたまってしまいます。

これを「胆汁うっ滞」といい、肝臓の働きが悪くなってしまいます。

さらにその状態が持続すると、肝硬変や肝不全に進んでしまう危険性もありますので、治療が必要です。

血液検査では、主にALP、 γ -GTPという項目の数値を確認します。





胆石症 と診断されて服用す

なぜ治療するの？

「胆のう」という臓器の中にできた胆石は、胆のうの壁に接触して炎症や痛みを引き起こす原因になります。

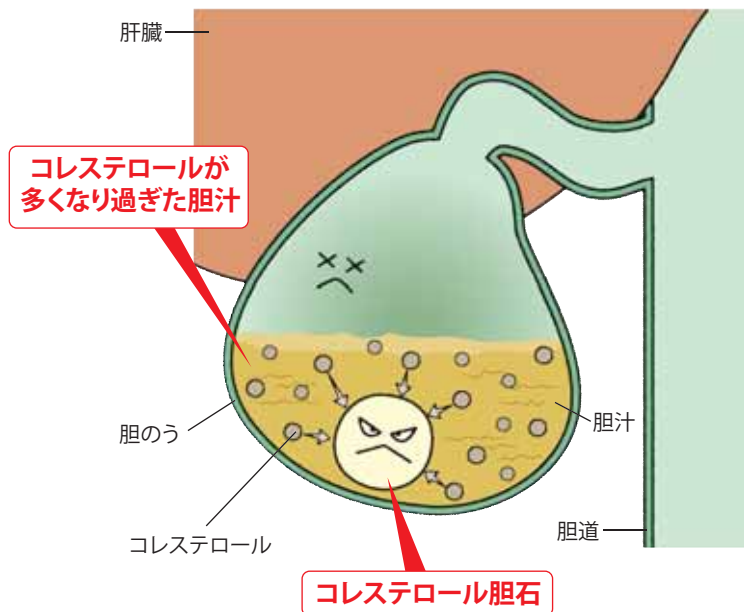
炎症が強くなり「胆のう炎」になったり、我慢できないほどの腹痛（発作）が起きると、手術をしなければならないこともあります。

なぜウルソを服用するの？

コレステロールでできた胆石を溶かすために服用します。

さらに、胆石による痛みなどの症状を抑える可能性もあります。

なお、胆石の外側がコレステロール以外の成分だと、ウルソで溶かすことはできません。



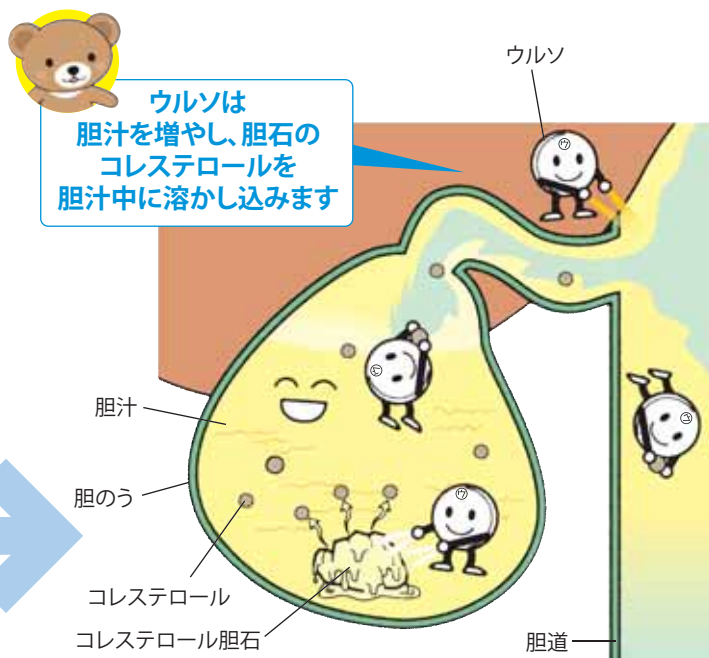
なぜ効くの？

胆石の成分となるコレステロールは、もともと胆汁中に溶けています。しかし、胆のう内で胆汁中のコレステロールが多くなり過ぎるとそれらが集まって石になっていきます。

ウルソは、肝臓で胆汁を作る働きを助ける効果があり、胆のう内の胆汁の量を増やします。

胆汁が増えると、胆のう内のコレステロール濃度が薄くなりますので、胆石から胆汁中にコレステロールが溶け出していきます。

さらに、ウルソは胆のう内の炎症を抑える作用も有しています。



ウルソの主な副作用

下痢や軟便などの消化器症状が知られています。
より詳しい情報は、医師・薬剤師にお尋ねください。

ウルソの服用方法

- 服用は食直後でなくても大丈夫ですので、1日の用量を守ってしっかり服用するようにしてください。
- 苦いと感じる方も多いため、飲み物と一緒に服用されることをお勧めします。
- 他のお薬と一緒に服用される場合は、医師・薬剤師の服薬指導をまもって服用してください。

最後に・・・

自覚症状がないため、服用する意欲がわからないという方も少なくないと思います。だからといって、ご自身の判断で服用を中止することはよくありません。

症状がなくても気づかないうちに状態が悪化してしまうのが「沈黙の臓器」肝臓・胆道系の病気です。

そのような病気だからこそ、医師・薬剤師の指導を守り、早期からウルソで積極的に治療することが大切です。

どうぞお大事に・・・

